こども食堂にて について

子どもたちの社会的養育をテーマに作品を手がける映画製作チーム・Sunshine が、さまざまな事情を抱えた子どもたちが集まる「こども食堂」を舞台に、親子の愛情を描いたヒューマンドラマ。
監督・脚本：佐野翔音　上映時間 115 分

■ストーリー

「こども食堂」でボランティアスタッフをする滝本 千晶（たきもとちあき）20 歳。かつて親から虐待を受けたが、子どもシェルター、自立援助ホーム、NPO などで多くの人に支えられ立ち直り、今は児童福祉司を目指して夜間の大学で学んでいる。

今や「こども食堂」は、単なる貧困家庭や孤食の子に食事を提供するだけでなく、何かを抱えた子どもと地域・社会を結び付ける重要な場になる役割が求められている。

「こども食堂」の手伝いをする千晶の目には、夕食を食べに来る多くの問題を抱えた子どもたちの姿が映った。腕に痣がある小学生。児童養護施設に入っていたことを笑顔で話す中学生、子育てに苦悩するシングルマザーもいた。

みんな、毎日生きることに苦しみながらも、そこから抜け出す手段を知らない。自分のことを話そうともしない。どこか陰のある子どもたちに、千晶は優しく声をかけ、自分の体験したことを生かしながら、話をしていく。

そんな千晶の癒しになってるのが、こども食堂の近所にあるアクセサリーショップ。商品を見たりオーナーと話すことで、別世界に触れ、千晶の心は安らぐのだった。

ある日、千晶は里親のもとで暮らす一人の少年の悩みを聞く。生みの母親が見つかった、会いたいという。そんな少年に千晶は言葉をかける…少年は、どう行動するのか…千晶自身には、縁を切ったつもりの父親が行方不明との連絡が入り、心は揺れる…

上映会＆千葉市内の子ども食堂団体のパネル展示

参加について

参加費無料　申込み不要
当日会場にお越しください

新型コロナウイルス感染防止対策のため、入場数の制限、ソーシャルディスタンスの確保、マスクの着用などをお願いする場合があります。また、やむを得ず中止とする場合は、市民ネットワークちばホームページに掲載いたします。
ご理解とご協力をお願いします。

11/8 SUN
13:00

問合せ先　**市民ネットワークちば**
千葉市美浜区高洲 3-20-45-403
Tel＆Fax　043-379-4958　E-MAIL　chiba@chibanet.jp